



コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和3年12月24日(金) No.11 文責 校長 島田 二郎



令和3年が終わります

今日は、後期前半終業日です。明日から17日間の冬休みです。次に学校に来るのは、令和4年1月11日(火)です。その間、クリスマスや大晦日、正月などがあり、街は賑やかになります。しかし、新型コロナウイルスの感染状況はまだまだ予断を許さない状況です。引き続き、ご家庭においても、感染防止に努めていただきたいと思います。



さて、令和3年が終わりますので、今年を振り返ってみたいと思います。令和2年末から新型コロナウイルス第3波により、教育活動は様々な変更や中止、縮小などの影響を受けました。その後も5月頃の第4波、8月から9月にかけて第5波と次第に感染者数が増加し、学校においても日常の授業や体育会、1年生自然教室、部活動や中体連大会・コンクール等、文化発表会・合唱コンクールなど、様々な影響を受けました。PTA行事も様々な活動が中止となり、樟蔭のつどいは、樟蔭オリンピックに変わり、実施することとなりました。このように学校の教育活動は、たくさんの影響を受けました。その中で、学校としては、生徒・教師の安全を第一と考え、コロナ禍で何ができるかを模索し、規模縮小等、臨機応変に対応しながら、上記の活動をしました。例年とは異なる活動もありましたが、子ども達にとっては良い活動ができたものが多かったと思います。オンライン学習では感じえない、学校ならではの体験的学習をいくつも実施することができました。特に修学旅行は昨年に引き続き実施することができ良かったと思います。近隣の学校を見ると、延期や行先変更をした学校がありました。中には、何度も延期した結果、日帰りで行った学校もありました。本校は、偶然とは言え、2年連続とても良いタイミングで実施することができ、奈良や京都の文化に触れてくることができました。また、2年生は入学式や自然教室等、多くの行事に影響を受けた学年です。その学年が2泊3日の宿泊体験をできたことは、何にも得難い貴重な体験となりました。

今後も感染拡大防止のため、教育活動は変更等あるかと思いますが、安全を第一と考え、できることをしていきたいと思っています。



今年の漢字

先日、修学旅行先で訪れた清水寺には、今年の漢字『金』が飾られていました。オリンピックやパラリンピックにおける金メダル獲得や、米大リーグエンゼルスの大谷翔平選手、将棋の藤井聡太竜王の活躍で「金金字塔」が打ち立てられたこと、新型コロナウイルスに絡む「給付金」などが主な理由のようです。西中においても、『金メダル級』の活躍がたくさん見られました。まさしく今年の漢字にふさわしい活躍ぶりであったと思います。私としては、『金』も良いのですが、西中独自の漢字をもし選ぶならば『星』もしくは『輝』も良いかと思っています。568名の星は、それぞれ精一杯の輝きを見せてくれました。光り方も大きさも違う個性的な星々です。それぞれの星が輝き、生活していたことが印象に残りました。来年もますます輝くことを期待しています。

